

CDEJ のための情報アップデート

大丈夫ですか？ ノボラピッド®30 ミックス注/同フレックスペン®のこと

日本医科大学附属病院 看護部 古山 景子

ノボラピッド®30 ミックス注 フレックスペン®が登場して、フレックスペン®タイプの製剤は9タイプとなりました。インスリン製剤の種類が増えたことで、患者さんにとってよりよい選択や組み合わせが可能になりますが、間違いやすくなったのも事実です。各製剤は色分けされ、インシデントを防ぐ工夫が施されていますが、ある施設では「薬剤師が、ノボラピッド®30 ミックス注 フレックスペン®と、ノボラピッド®注300 フレックスペン®を見間違え、実際に患者さんの手に渡ったが、患者さん自身が気づき使用されなかった」という話を聞きました。また高齢の患者さんなどでは自分が使用しているインスリン製剤の名前を正しく言えないという方もいらっしゃる、事故を防ぐためにも、インスリン製剤に精通して、インスリン治療が間違いなく行われるよう、さらに注意してください。

懸濁方法が初回だけ他の製剤と異なる、ノボラピッド®30 ミックス注/同フレックスペン®のチェックポイントを、ここで再度確認してみます。

チェックポイント

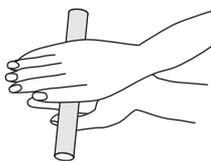
【初回準備時】

1. 冷蔵庫では水平に保管する（沈殿がせまい底にたまらないように）。
2. 使用時、室温にもどしてから、フレックスペンのインスリンの入っている側（ないしカートリッジ）を両手にはさんで往復10回以上すばやく水平に転がす（図）。
3. 次に、インスリンカートリッジ内のガラス球が両端まで上下するように、往復10回以上スナップをきかせて振る（図）。
4. 中の製剤が均一に白くなって沈殿の無いことを光に透かして確認する（均一でない場合はこの操作を繰り返す）。これ以降の、ペンニードルの取り付けや注射方法の手順は他の製剤と同様に行う。

【2回目以降】

1. 残量が12単位以上残っていることを確認する（12単位以上ないと懸濁不可能）。
2. 【初回準備時】の、3. から開始する。

室温にもどしてから、両手にはさんで
往復10回以上すばやく水平に転がす



「インスリンのはいつている側を
特に両手にはさむとよいです。」

